

**令和 4（2022）年度 事業報告書**  
**ノエル福祉会 指定共同生活援助事業**  
**「グループホームすずか（ぜぜ・はるか・わかば・にじいろ）」**

昨年度よりも更にコロナ禍の影響を受け、感染症対策に追われた一年間でした。

令和 4 年 8 月すずかと 11 月はるか（該当ホームの利用者の感染により 10 日間）、令和 5 年 1 月はるか（濃厚接触者となったため 5 日間）、該当のホームを閉鎖し、利用者の療養を支援、感染拡大防止に取り組みました。ただし、ホームの閉鎖や日中事業所の休所期間には、内規に基づいてご協力いただけるご家族には帰省を依頼するなどし、ホームの本来の機能を果たせない期間がありました。

支援中の職員自身の感染や職員家族の感染による濃厚接触者となった時は、既定日数の自宅待機となり、その間は勤務体制の組み換えで他の職員への負担も大きくなりました。日中事業所の閉所中も昼間の支援体制が必要で、法人内で連携をして乗り切りました。

職員体制については、にじいろの体制整備・ホーム全体の体制整備に取り組んでいましたがコロナ禍の影響もあり体制は充足せず、すずか・ぜぜ・はるか・わかばでもパート職員の勤務回数に変動があり、正規職員をフル稼働して体制確保しているのが現状です。今後のホーム運営も職員の配置が重要なので、職員の増員を目指します。

障害者虐待防止・人権擁護については学習による意識の向上に取り組みました。日常では、主任を中心に正規職員が各ホームのパート職員の相談・指導にあたる中、支援への疑問を提案して頂ける機会もありました。

## 1、運営方針

- (1) 利用者が人権を尊重され、安心できる暮らしをつくる。
- (2) 利用者が生活の主人公となり自分らしい暮らしをつくる。
- (3) 安定した健康状態を保つ。
- (4) 職員のチームワークで利用者の支援を行なう
- (4) 職員は利用者の障害や特性を理解して支援できるよう研修と実践に取り組み、専門性を高める。
- (5) 近隣や地域との繋がりを持ち、地域社会に根ざした暮らしをつくる。
- (6) 運営安定のため、職員体制の強化を図る。

## 2、重点課題について ※運営方針を元に以下のように取り組みました。

- ☆ 人権を護り虐待を防止するため、職員自身が具体的に意識できる学習機会や情報を伝えていきます。

※障害者虐待防止研修会を実施。リモート参加もして頂けるようになり、参加者が増えた。グループホームは虐待が一番多く起こりやすい環境であることを知らせ、認識してもらう研修となった。適切な支援を心掛けられるよう、年 1 回の支援の振り返りチェッ

クを各自で行なった。

- ✧ 感染予防対策を徹底し、利用者・職員の健康管理を行ないます。  
加齢に伴う状態や持病・肥満をできるだけ改善できるよう医療機関と連携します。  
※基本的に感染予防対策を行い、感染者や濃厚接触者が出た場合は状況にあった感染予防対策の強化を図った。
- ✧ 利用者それぞれが自己実現できるようヘルプを活用していきます。  
感染予防対策を取りながらの外出が続いていて、なかなか思い描くような外出にはなっていないが障害特徴やストレスの度合いに合わせてヘルプ利用をしてきた。
- ✧ 感染症予防対策を実施しながら、キーパー会議の実施、各ホームへの訪問や連絡票での相談など意見交換を図り、チームワークを高めます。  
※感染が流行している時には集合してキーパー会議を実施できなかった。キーパー会議は、ネット環境が整っていないのでオンライン会議は実施しにくい。
- ✧ リモートによる研修や学習会への参加や資料による情報提供をします。  
※感染症予防対策や虐待防止の研修では、研修に参加した内容の共有を資料や動画で行なってきた。
- ✧ 積極的に近隣の方々と交流します。  
※未だ感染予防の観点から地域行事などは通常のように戻っていないので交流はできなかった。
- ✧ パート職員の増員をするほか、昼勤務パート職員による通院支援を実施し、泊まり勤務者の確保に繋がります。  
※今年度も昼勤務パート職員による通院支援を行った。人手不足解消の対策の一つではあるが、付添職員が利用者の健康や状態について医師と連携でき、健康状態の把握をしつかりできる成果がある。

### 3、運営内容

(1) 利用契約者数・定員／利用者数 20名(定員22名) (令和5年3月現在)

	定員	利用者数	備考
グループホームすずか	4名	4名	石山寺：男性専用
グループホームぜぜ	5名	3名	膳所：女性専用
グループホームはるか	4名	4名	石山寺：男性専用
グループホームわかば	4名	4名	北大路：女性専用
グループホームにじいろ	5名	5名	大石龍門：男性専用

(令和5年3月現在)

ホーム名	在籍人数 (定員)	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2
すずか	4 (4)	1	1(身体 1)	2		
ぜぜ	3 (5)		2	1		
はるか	4 (4)		2 (身体 1)	2(身体 1)		
わかば	4 (4)	2	1	1		
にじいろ	5 (5)	2	1	2		

パート職員 33 名 (合計 40 名)

令和5年3月時点

[illegible]

(3) 会議運営等

会議（対象職員）	実施日
正規職員会議（正規職員）	第2週目／月1回
キーパー職員会議（全職員）	偶数月＝女性ホーム 奇数月＝男性ホーム
モニタリング・個別支援計画会議（全職員）	7・8・1・2月の各キーパー会議にて実施
法人運営会議（管理者）	毎月1回
年度末総括会議（正規職員）	12月から3月までの間に平日実施

(4) ホームでの過ごし

◎利用者の日課

夕方	16:00	ホーム帰宅
		入浴・くつろぎ
	18:30	夕食・後片付け 歯磨き
夜	20:00	自由時間
		就寝準備
深夜	22:00	就寝
朝	6:00	起床・洗面・着替え
	7:30	朝食
	8:00	歯磨き・出発準備
	9:00	各事業所へ出発

◎職員の勤務時間

グループホーム すずか・ぜぜ・はるか・わかば	夕泊勤務 16時～翌10時（休憩0時～4時含む）
	昼勤務（土日祝のみ）10時～16時
グループホーム にじいろ	朝勤務 6時30分から10時
	夕勤務 15時～20時
	泊り勤務 15時～翌10時（休憩0時～4時含む）
	昼勤務（土日祝のみ）10時～16時

※令和4年4月より休憩時間帯の変更

(5) 年間の行事

特にホームでの行事は持たず、個々に合わせたヘルプサービスは、感染予防対策を配慮して行先の工夫や希望を叶えることに力を入れて取り組みます。

※感染状況は変わりなかったが、利用者のストレスを解消するためにヘルプでの外出を利用してきた。

#### 4、健康管理について

- (1) 医療機関との連携により、利用者が心身ともに安定して生活できるようにします。
- (2) 定期受診や、歯科、皮膚科、耳鼻科など必要に応じて通院支援をします。
- (3) チェック表等の活用などにより、服薬の支援や管理を的確に行う。
- (4) 毎月健康チェック（体重測定）を実施し、変化を掴みます。
- (5) 感染所予防を徹底する。毎日検温・手指消毒・マスクの着用・ホーム内消毒
- (6) 感染症の緊急時対策を充実させる。

#### 5、危機管理について

##### (1) 防災について

①避難訓練は、防火（消火・通報）、地震、風水害を想定して実施する。

（にじいろは年に2回実施する。）

※職員の勤務時間の変更により予定変更はあったが、以下のように実施できた。

R4 年 5 月 13 日(金)すずか【火災】

7 月 15 日(金)はるか【地震】

9 月 14 日(水)にじいろ【火災】

11 月 11 日(金)ぜぜ【地震】

R5 年 2 月 1 日(水)わかば【火災】

3 月 16 日(木)にじいろ【火災】

②地域の情報収集をします。

③防災点検日を9月1日と3月1日とし、住居の安全確認・点検を行い、改善点の確認と改善を実施する。

※点検を行い、少しずつ改善に取り組んだ。

##### (2) ヒヤリハットについて

連絡票のヒヤリハット欄を活用し、事故や危険を未然に防げるようにします。

※活用してきた。

##### (3) 感染症予防対策について

グループホームの新型コロナの感染症予防対策の相談会・学習会などに積極的に参加してホーム内でのクラスターや感染者が発生した場合に備えることができた。日頃の備えが大事だと痛感した。

#### 6、サービスの向上に向けて

##### ①サービス自己評価について

サービス自己評価委員会を設置し、健康福祉サービス自己評価を実施。サービスの質の向上と活性化等を目的にご要望・ご意見を頂くよう呼びかけます。

##### ②苦情解決について

苦情解決委員会を設置し、（バックアップ事業所のノエルしごとの家と同じ）利用

者・家族が支援に対して不安や不満等がある場合、苦情として申し出ていただけるよう公表していきます。

③人権擁護・虐待防止の意識の向上

身体的拘束適正化委員会・障害者虐待防止委員会の実施。

※R4 年 11 月・R5 年 3 月実施

学習機会の保障をするだけでなく、具体的な日頃の支援を確認し、適切な支援に繋げることで虐待防止に取り組みます。

7、研修について

《令和 4 年度 研修実施報告》

	研修内容（開催日）	対象職員
4 月		
5 月		
6 月	新型コロナオンライン相談会 6/20	
7 月	滋賀の福祉人研修「中堅期」7/6・22・26	
	障害者虐待防止・障害者人権学習会 講師；三田優子氏 7/7	
8 月	きょうされん滋賀支部主催「作っていますか？虐待防止委員会」学習交流会	
	第 33 回全国グループホーム研修会 8/26	
9 月	大津市自立支援協議会主催 アタッチメントを学ぼう 9/9	
	きょうされん全国大会（岩手）9/30(金)10/1(土) 2 日間	
10 月	2022 年度きょうされん滋賀支部キーパー学習交流会 10/5	
11 月	チームリーダー研修 11/1・7	
	滋賀の福祉人研修「管理職」11 月	
12 月	きょうされん地域生活支援部会主催 キーパー学習交流会 12/21	
1 月	サビ児管実践研修 1/24・25	
2 月	きょうされん滋賀支部主催 研究集会 2/4	
	全国きょうされん重度重複部会 2/25	
	自己点検実施「支援の振り返りチェックシート」2 月中	
3 月	法人全職員研修 3/11	
	サビ管更新研修 3/9	

※感染症予防対策や虐待防止の研修では、研修に参加した内容の共有を資料や動画で行ないました。キーパー職員の参加も多くなりました。コロナの対応もある中でしたが、研修や学習には積極的に参加できたと思います。

8、職員の役割分掌について  
 ※以下の表通り実施しました。

【令和4年度 職務分担表】

	責任者	職 務 内 容	担当者
庶務・事務関係統括責任者 【西谷明浩】	庶務・事務 【神領】	公印の管理・保管に関する事	■■■■
		職員人事に関する事	■■■■■■■■
		給与、保険等待遇する事	■■■■
		労務、福利厚生に関する事	
		利用者との契約に関する事	■■■■
		公文書・刊行物の管理に関する事	■■■■
		予算・決算に関する事	
		財産管理・営繕に関する事	■■■■■■■■
		物品の購入・管理に関する事	
		各種現金の取り扱いに関する事	
		防火管理に関する事	■■■■
		防災訓練・防災点検	■■■■
		寄付金・寄付物品の受入れに関する事	■■■■
		日常の施設等施設の管理に関する事	■■■■
		職員の研修・学習に関する事	■■■■
		業務日誌・連絡票に関する事	■■■■
		勤務表作成に関する事	■■■■
		年間計画に関する事	
		後援会事業に関する事	
		その他 一般庶務	
支援関係統括者 【神領】	支援 【伊藤】	利用者の個別支援計画・評価に関する事	■■■■
		支援・支援関係書類の整備保管に関する事	
		利用者のサービス利用予定に関する事	
		利用者の生活に関する事	
		利用者の健康管理に関する事	■■■■
		家族との連絡調整	■■■■■■■■
		その他 支援全般に関する事	■■■■■■■■ ■■■■■■■■
生活全般統括者 【神領】	生活 【神領】	食事全般・ヨシケイの注文に関する事	■■■■
		生協の注文に関する事	■■■■ ■■■■■■■■
		環境衛生	■■■■
営 運 議 会	会議運営	正規職員会議 毎月第2週目	■■■■

	等 【神領】	キーパー職員会議		■■■■■
		偶数月＝女性ホーム 奇数月＝男性ホーム		
		ケース会議		■■■■■
	法人内部 会議 【神領】	個別支援計画会議 7・8・1・2月実施予定		■■■■■
		苦情解決委員会		■■■■■
		虐待防止委員会		■■■■■
		サービス自己評価委員会		■■